

本社 〒108-0071 東京都港区白金台5-17-2 TEL.03-3446-7151(代)・FAX.03-3446-7160
 大阪事業所 〒537-0001 大阪市東成区深江北2-1-10 TEL.06-6976-0701(代)・FAX.06-6976-0802
 名古屋支社 〒461-0004 名古屋市中区葵1-1-22 KT葵ビル3F TEL.052-856-0701・FAX.052-856-0699
 札幌支店 〒065-0027 札幌市東区北27条東19丁目1-1 TEL.011-780-1700・FAX.011-780-1701
 仙台支店 〒984-0012 仙台市若林区六丁の目中町6-1 TEL.022-287-9531・FAX.022-287-9534
 さいたま支店 〒331-0812 さいたま市北区宮原町1-68 TEL.048-652-1345・FAX.048-652-1321
 横浜支店 〒241-0031 横浜市旭区今宿西町426-1 TEL.045-954-4411・FAX.045-954-4422
 静岡支店 〒422-8005 静岡市駿河区池田231-1 TEL.054-263-0119・FAX.054-262-7741
 広島支店 〒733-0005 広島市西区三滝町7-4 TEL.082-237-4625・FAX.082-239-3859
 四国支店 〒791-1126 松山市大橋町202 TEL.089-963-5850・FAX.089-963-5877
 福岡支店 〒812-0893 福岡市博多区那珂5-7-12 TEL.092-411-4224・FAX.092-411-4229

大阪工場・東京工場・中央研究所・関東物流センター・リサイクルセンター

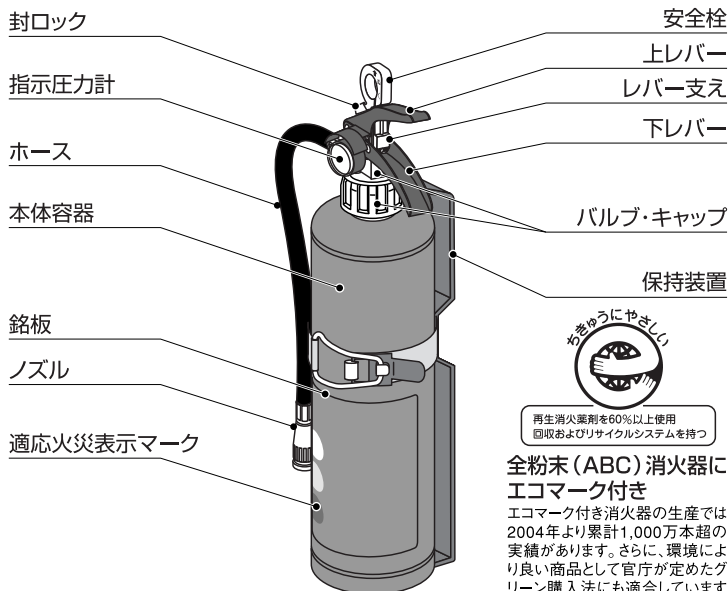
●この商品についてのお問い合わせは、ご購入の販売店または当社ナビダイヤルへ…

お客様相談窓口

 **0570-080-100** 受付時間:平日9:00～17:00

※本書に掲載した商品は改良などのため、予告なく規格・仕様変更等を行うことがありますので、ご了承ください。 1307-3

1 部位名称



火災は燃焼する物体の性質によって、おおよそ次の3つに分類されています。

- A 火災…木材・紙・繊維など
 (普通火災) が燃える火災。
 B 火災…石油類やその他の
 (油火災) 可燃性液体、半固体
 油脂類などが燃え
 る火災。
 C 火災…通電物質を含む電
 (電気火災) 気による火災。

◆適応火災表示マーク



普通火災用
A火災

白色円のマーク



油火災用
B火災

黄色円のマーク



電気火災用
C火災

青色円のマーク

以上の3つの分類に応じて、消火器も適応火災にふさわしい使い分けをする必要があります。
 つまり、防火対象物によって適応する消火器を選んで設置することが必要です。
 消火器の銘板には適応火災を示すマークが明示されています。



自動車用 粉末(ABC)消火器 (蓄圧式) MULTIPURPOSE DRY CHEMICAL FIRE EXTINGUISHER

国家検定合格品

取扱説明書

当社製品をお買い上げいただき、
 誠にありがとうございます。

- 取扱説明書は必ず読んでください。
- いつでも読めるところに保管してください。

危険防止について

消火器はすべて国家検定に合格していますが、
 設置条件の悪いものや年数の古いもの、あるいは、
 誤った取扱いなどによって事故が発生する場合
 があります。

この『取扱説明書』の「危険」「警告」「注意」の
 事項は必ず守り、身近な防災器具として、いつで
 も使用できる状態にしておいてください。

2 操作方法



操作上の注意

- レバーを握ったまま安全栓を抜かないでください。固くて抜けにくくなります。
- ホースをしっかり持って消火の操作をしてください。
- 3mほど離れ、火の根元をねらいホウキで掃くようにして消火してください。
- 一度消えても再発火することがありますので、最後まで消火薬剤を放射してください。

ストップ機構付きです。レバーを離すと放射が止まりますが、そのまま放置すると圧力が漏れ使用不能となるため、最後まで放射してください。

- ガスが関連した火災では、消火後すみやかに、必ずガスの元栓を閉めてください。

3 消火薬剤について

- 消火薬剤には著しい毒性はありません。しかし大量に吸い込むと危険な場合がありますので、ご注意ください。
- 消火薬剤が誤って目に入ったときは、絶対にこすらずすみやかに流水で15分以上洗い流し、必ず眼科医の診察を受けてください。
- 消火薬剤のかかった食物は食べないでください。
- 飛散した消火薬剤をそのまま放置しておくと、薬剤が湿気を帯びてカビが発生したり、金属類を腐食させることがあります。また、電気器具の絶縁を低下させますので、すみやかに清掃してください。
- 消火器使用後の薬剤の詰め替えは、お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者（消防設備士）によって行ってください。
- 消火薬剤の詰め替えは、当社製粉末（ABC）消火薬剤を充てんしてください。

- 訓練に使用するなど、何度も詰め替えをする消火器の使用限度は10回です。それ以上詰め替えするときはキャップ、口金のネジ部が傷んで危険な場合があります。お求めになった販売店や当社営業所など専門の有資格者の判断を求めてください。

放射後の健康被害防止の為の注意事項

- 粉末消火薬剤は消火を目的とし、安全性が高く身体への影響は軽微です。
- 通常の使用により薬剤を吸引した場合、眼・鼻・喉に違和感を生じることがあります。
- 消火薬剤の清掃には十分な換気の元で、吸引及び眼・皮膚等に付着しないようマスク等の保護具を着用してください。
- 万一身体に異常を感じる場合は、医師の診断を受けてください。

一般社団法人 日本消火器工業会

4 設置について

- 専用の保持装置を用いて、目につきやすい場所に設置してください。
- 重量物の落下などによる強い衝撃が加わらない場所に設置してください。

■保持装置の設置について

設置の際は、必ず右記要領に従って設置してください。誤った方法で設置された場合、保持力が十分に発揮されずバンドが外れる恐れがあります。保持装置の設置は、必ずボルト・ナット（推奨ボルト※又は同等以上の強度を有するもの）などで、全ての取付穴を使用して確実に固定してください。

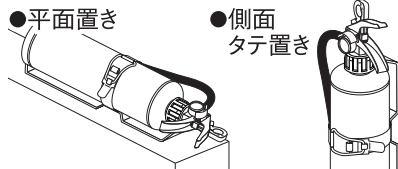
※自動車用粉末消火器 推奨ボルト

4型	M5サイズ
10型・20型	M6サイズ
取付穴のピッチ・個数は、保持装置の変更により変わる場合があります。	

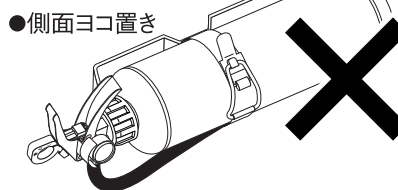
1・設置方法

本製品は、下記のいずれかで取り付けてください。

◎正しい取付方向



✕誤った取付方向



2・取付注意事項

- 不安定な場所には、設置しないでください。
- 設置面の状態、取付ネジによっては十分な保持力を得られない場合があります。
- 保持装置を確実に固定していないと消火器の脱落や誤放出の原因となります。
- 全ての取付穴を固定しない場合、特定箇所に荷重が集中し脱落等の原因となります。

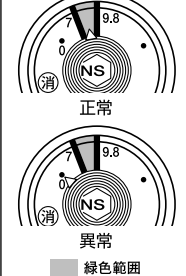
5 日頃の管理

- 試し放射はしないでください。放射後そのまま設置されますと火災の際に使用できません。
- 定期的に外観確認（右記チェックポイントを参照）を行い、ゴミやホコリを取り除いてください。
- 安全栓がレバー支えを立てた状態で確実にセットされ封ロックがほどこされているかを確認してください。封ロック
- 封ロックのとれているものは専門の業者による点検が必要です。
- 消火器を清掃するときは、ぬるま湯か水でしぼった布（ぞうきんなど）で汚れをふき取ってください。水を直接かけて洗うと、すきまなどに水が入りサビや腐食の原因になることがあります。また、有機溶剤（シンナー、ベンジンなど）や洗剤は使用しないでください。
- 消火器の部品などは、絶対にゆるめたりしないでください。

■チェックポイント

指示圧力計（ゲージ）

指針が緑色範囲内〔7.0～9.8（ $\times 10^{-1}$ MPa）〕にあるか確認してください。
※圧力が低下していると十分な能力が発揮されず、放射されない場合があります。



ノズル

亀裂・ゆるみ、また、異物やホコリでふさがれていないか確認してください。
※異常があると、正常に放射されません。

封ロック

封ロックがついているか確認してください。
※封ロックがはずれていたら使用済みの恐れがあります。

安全栓・レバー支え

レバー支えを立てた状態でセットされているか確認してください。
※安全栓が外れていたら使用済みの恐れがあります。

レバー

変形・腐食・塗装のはがれなどがないか確認してください。
※異常があると、使用できない恐れがあります。

バルブ・キャップ

変形・腐食・破損・ゆるみなどがないか確認してください。
※異常があると、圧力低下やバルブ・キャップの飛散事故の危険があります。

設計標準使用期限

設計標準使用期限を過ぎたものは、使用しないでください。
※銘板で確認してください。

本体容器

サビやキズ、変形がないか確認してください。
※異常があると、正常に放射されません。

6 使用上のご注意【消火器は圧力容器です】

⚠ 危険

- 破裂のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- 錆、傷、変形、キャップのゆるみのあるものは絶対に使用しないでください。
- 分解しないでください。廃棄の際は専門業者または記載されている電話番号にお問い合わせください。

⚠ 警告

- 破裂の原因や人身事故のおそれがありますので下記の項目をお守りください。
- 半年毎に法令で定められた点検を行ってください。
- 製造後10年を過ぎたものは、耐圧試験圧力値による水圧試験を実施してください。
- 腐食しやすい場所、湿気の多い場所、潮風や雨風にさらされる場所に設置しないでください。
- 濡れた床や地面に直接置かないでください。
- 使用温度範囲を超える場所に設置しないでください。
- 人に向けて消火薬剤を放射しないでください。呼吸困難等の危害を引き起こす恐れがあります。
- 使用時には火元から3m以上離れてから放射を開始してください。近づきすぎると火傷の恐れがあります。
- 避難経路を確保しながら消火してください。

⚠ 注意

- 消火器は初期消火の器具です。消火範囲には限りがあります。
- 試し放射はしないでください。使用できなくなります。
- 一度操作したものは、新品と交換または詰め替えを行ってください。
- 適応火災は、ラベルの表示マークと「取扱説明書」で確認してください。対象物によって適・不適があります。